



「子育て世代」から
選ばれるまち

須藤 量久 議員

■中学校完全給食へ

問 新学校給食センター及び中学校の給食受入施設の整備状況と今後の予定、昼食時間について伺う。

教育長 現在新たな学校給食センターは躯体工事と設備工事に着手している。令和6年6月に完成し、同年9月から供用開始の予定である。中学校の給食受入施設も工事を進めており、計画どおり全校が整備完了の予定である。給食開始の際は、配膳などを含め30分程度の昼食時間が必要となり、現在、学校給食運営委員会では昼食時間の確保と日課の調整を行っている。

問 出来立てに近く、おいしい給食の提供が望まれるが、効率的な配送計画に向けた取り組みを伺う。

教育長 調理後2時間以内の喫食を遵守し、配膳に要する時間を勘案し、食器と

給食を別々に配送する2段階配送を予定している。今後、中学校の日課の調整結果に合わせ、配送計画を決定していく。

問 確かな衛生管理の下で安心・安全な給食を提供する運営システムの構築を望む。衛生管理の構築に向けた取り組みについて伺う。

教育長 安全確保の管理手法であるHACCP実施のための計画を事業者が作成し、市が確認をする。稼働後は、重層的な監視体制の下で高度な衛生管理を維持していく。

問 アレルギー対応について伺う。

教育長 現在小学校給食で運用している平塚市学校給食における食物アレルギー対応マニュアルを改定し、小中学校共通した運用とする。

問 米飯給食や地産地消の充実と食育・食農育の推進

について伺う。

教育長 新学校給食センターでは、炊飯設備を導入し、米飯給食の回数を週4回程度に増やす。平塚産の「はるみ」を可能な限り使用出来るよう、納入元と協議を進め、地場産食材についても、積極的に取り入れていく。食育・食農育の推

1面掲載写真を
募集しています

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、2月発行予定の議会だよりの1面に掲載する写真を募集しています。「冬」をテーマとした、平塚市の魅力を収めた写真をご応募ください。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。か、議会局までお問い合わせください。
(議会局 ☎21-8791)



進だが、地域産業従事者と連携、推進していく。
問 新学校給食センターでの災害時の対応を伺う。
教育長 災害発生時に電気やガスが使用不可能の場合でも、プロパンガスを使用する移動式回転釜により、近隣住民への炊き出しを行うことが可能である。人的支援や備蓄品提供など事業者からの提案を含め、先進事例を参考に災害発生時に協力する事項の調整を行い、供用開始までに災害協定の締結をする予定である。



湘南平トイレの早期改修を

黒部 栄三 議員

問 総合公園のトイレは令和元年度に改修が終わり、特に来園する親子連れに好評である。本市の観光資源である湘南平のトイレの現状と課題について伺う。

都市整備部長 湘南平にはレストハウスに屋内トイレが1か所、頂上エリアと大駐車場にそれぞれ屋外トイレが1か所、子供の森に仮設トイレが1か所設置されている。レストハウス内の

トイレは、今年度に和式から洋式へ変更し、快適性が向上したと考えている。屋外トイレはいずれも設置後30年以上が経過し、老朽化しており、利用者の利便性や快適性向上のため改修の検討が必要と考えている。

問 湘南平はこれまで樹木を伐採して眺望の確保やベンチを設置して居心地のよい空間づくり、鍵かけモニタメントの「ainowa」を設置してきた。元年度には開園60周年記念イベントを行い、多くの来場者を集め、同年6月にはマ

ケットサウンドイングを実施し、その結果を基に、再整備計画を作成したが、その後の経過を伺う。

都市整備部長 湘南平は景色を楽しんだり、ハイキングで自然に触れるなどそれぞれの楽しみ方がある。マーケットサウンドイングはそれらも加味しながら、再整備にあたって湘南平のあるべき姿を検討している状況である。

問 湘南平は総合公園に次ぐ来場者数である。工夫次第では総合公園以上の来場者が見込まれる。シティブ

▼このほかの質問 がん撲滅 生成AIの活用 投票率向上 バス路線見直し

清風クラブ 所属議員



坂間 正昭 議長



数田 俊樹 議員



野崎 審也 議員



片倉 章博 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第71号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 農業振興費の担い手総合対策事業について、中央ライスセンターは、令和6年3月までに受託面積に対する従業員の確保が適切にできる状況になっているのか伺う。

答 中央ライスセンターの受託面積だが、現在、大規模受託をしているのが湘南ライスセンターと片岡ライスセンターである。その間の金田地区に中央ライスセンターができるので、現在、JA湘南の受委託組織協議会と受託面積を調整している。その中で、6年度に

については、金田地区で約16ヘクタールを目標としている。従業員が増える段階に対して、将来的には、できれば50ヘクタールくらいを受け持つことを考えている。従業員の確保については、現在、地域の人や発起人にも声をかけて、従業員を集めていると聞いている。

問 波力発電について、これまで電池推進船やブルーカーボンなど、さまざまな成果があったと思うが、実用化や商品化、商業化できたものがあるのか。

答 波力発電の関連分野では、平塚新港をフィールドとして提供したもので、水中のカメラロボットや可搬型の双胴式無人艇が市内企業や東京大学、市外の企業で開発され、商品化されている。

都市建設

議案5案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第71号 令和5年度平塚市一般会計補正予算

問 道路維持費の道路施設維持管理事業について、市道全域800キロメートルを超える市道認定路線に対して撮影した舗装道路のAI解析を行うとのことだが、道路点検システムの内容と期待される効果を伺う。

答 公用車にスマートフォンを設置して動画を撮影しながら走行し、そのデータをAI解析することで路面の状態が分かるようになる。この調査によって市道全域800キロメートルの路面状況を把握することが可能となり、概ね2

週間程度で調査を行うことができ、時間短縮効果が大きく見込まれると考えている。

○議案第77号 令和5年度平塚市下水道事業会計補正予算

問 公共下水道ポンプ場耐震長寿命化対策事業の事業内容を伺う。

答 近年、全国各地で豪雨などによる水害が発生し、各地で処理場やポンプ場などの下水道施設も浸水により機能停止するなどといった被害を受けている。本市でも洪水などから施設を守り、安定したポンプ場の運用を図るために施設の耐水化、具体的にはポンプ場自体の浸水対策を行うため、今回馬入ポンプ場と徳延ポンプ場、東豊田工業団地ポンプ場の3か所のポンプ場の基本設計を行うものである。